

ことばの歳時記

～そわそわ～

日本の3月は、出会いと別れの季節といわれています。卒業、就職、転居などによって、慣れ親しんだ環境に別れを告げることは、新しい人との出会いが楽しみな一方、なぜか不安で心が落ち着かないことも多いものです。

このように、何かに気を取られて目の前に集中できないさまや、これといった確かな理由もないのに、ある感情や心理がわき起こり、心が定まらないさまを擬態語で「そわそわ（する）」と表現します。

昔流行った歌謡曲の中に「春なのにお別れですか」という歌詞があります。「春」は、「満開の桜」や「希望に満ちた未来」と、どこまでも明るく美しいものを連想させる反面、旅立ちの寂寥感や巣立ちの喪失感も同時に味わうことの多い季節ですが、それを乗り越えたところに、今までの自分と違う成長があると信じ、前向きに歩いていきたいものです。

词语的岁时记

～心神不定～

日本的3月，被称为是相遇和离别的季节。由于毕业、就业、迁居等，向习惯了的环境告别，在期盼着与新的人员相遇的同时、另一方面，不知为何心情往往忐忑不安。

像这样人们把因被什么事所吸引而对眼前的事不能集中注意力，还有虽没有确实的理由，但是心中却涌起某种感情和心理，心神不定的拟态词用「心神不定」来表现。

从前流行的歌曲中有「春天来了却要离别吗」的歌词。「春天」，是「盛开的樱花」和「充满希望的未来」，以及到处能让人联想到明亮而美丽的东西，与此相反，也往往能够体味到很多的踏上旅途的孤寂感和自立的失落感的季节，不过，当你能跨越这些情感、相信肯定会得到与现在的自己不同的成长，朝前走的想法会油然而生。